

田尻だより

平成 19 年

6月 号

Vol. 51

次回の田尻便りは
7月発行予定!

田植えもすっかり終

わり、田んぼを渡る風

が、まだ幼い稲の葉を

なでていきます。

この時期の風景は格

別です。風のないよく

晴れた日、田んぼに張

られた水は鏡面のよう

に周囲の景色を映し込

み、田んぼの中に、も

うひとつの美しい日本

が広がっています。

近頃のはくらは、
絵が工作などの



芸術活動が
さかんです。

「にぎやかな田植え」

農家には二種類ある、

と私は考えています。

それは、人が離れてい

く農家と、人が集まる

農家です。

農家とは、つまらな

くて古臭くて非効率で

格好悪いもの。それが、

人が離れていく農家。

本人がそう思わなくて

も、そう思われてしま

ったら、人は去ってい

きます。逆に、農家は

豊かで新鮮で懐かしく

て自由なもの。そう感

じさせる農家には、人

がおのずと集まります。

それは、農業のとら

え方の違い。農業を職

業として見るか生き方

としてとらえるか。さ

らに言えば、農家自身

が、農業の夢やロマン

を語れるかどうかでは

ないでしょうか。

小野寺家は、今年も

たくさんの人たちが田

植えに来てくれました。

でもそれが、農家本来

のあるべき姿なんだろ

うと、私は思います。

そしてそれがその
作品の数々。



大きくなったお米と
実感。見ていて
食えます。

未 暦 ~こめごよみ~

5月1日 ~29日 代掻きをしました。

5月18日 ~30日 田植えをしました。

今年もたくさんの方が田植えのお手伝いに
来てくれました。
今年に関東方面の人が多く、お米を食
べてくれている人や友人などが主で、田尻の
中学生と一緒に田植えを満喫しました。
毎週末、小野寺家は賑わいでした。

嫁日記

5月26日、田尻中学校の
生徒3名が田植えの取材に
来てくれました。私として
は、しめしめです。地元の
若い子たちに、農業の魅力
を伝える大チャンスです。

取材時間は午前中。この限
られた時間でいかに田植え
を楽しむか。それはつまり

田植えをしながらどれだけ
遊べるかです。ドジョウや
貝エビを捕まえたり、軽ト
ラの荷台に乗って移動した
り、田植え機械を運転して
みたり。それが、楽しい。

何で田舎の子ほど農業を嫌
うのか。それは子供を田ん
ぼで遊ばせない親の責任だ
と思います。子供は何より、
遊ぶことが仕事なんだから。